

フェブラリーナイトを開催！

—連合北海道渡島地域協議会 函館地区連合青年委員会—

夕方から発達した低気圧が函館に近づき、猛吹雪に見舞われた2月17日(土)、函館市本町「ブルーポイント」において、函館地区連合青年委員会は「第10回フェブラリーナイト」を開催しました。19組合から総勢80名が参加して、青年層の組合間交流や抽選会等を行い、悪天候を跳ね返すような熱気が渦を巻く会場となりました。

非常に悪天候となった当日、主催者は「このような天候で、本当に集まるのか?」「来場者が減るのでは?」と不安を抱えながら準備を進めました。

開始予定時刻の15分前、来場者は出席予定者の約半分。天候の影響を考え、開始時刻を15分遅らせ、最終的に80人が来場し、フェブラリーナイトを開催しました。

佐藤青年委員長の挨拶や函館地区連合会・長谷川会長の挨拶を受けた後、交流会へと突入し、自己紹介や仕事の内容を教え合うなど、各テーブルでは話が弾みました。

また、参加者がより多く交流するために毎年行われている「席替えタイム」。若年層が中心とあって、親しくなるのに時間はあまり必要がないようでもありました。



事務局の準備した景品に加え、各産別・組合・団体からたくさんの景品をご提供いただいた抽選会では、番号発表と同時に歓声・奇声・ため息が上がるなど、会場のボルテージは最高潮に。予定されていた時間は「あっ!」という間に過ぎました。

集会の最後に、地域の連携を益々強化していくために青年層が中心を担っていくことを確認するとともに、来年もこの会場で再開を祈念して散会となりました。

昨年よりも、参加人数は減少したものの参加組合数は過去最高。10年間地道に続けてきたこのイベントが少しずつ浸透・定着してきたと実感しています。その反面、未参加の組合がまだ数多くあることや、連合未加入組合・未組織の仲間の皆さんには、このイベントを周知することがなかなかできていないという課題が残されているのも現実です。

函館地区連合青年委員会では、フェブラリーナイトの取り組みを通じて、地域の青年層が中心となって交流を図っていくために、一層の努力が必要であることを認識するとともに、地域で働く青年労働者に、より優しく、より近くで声を聞き、そしてその声を発信していきたいと思えます。

最後に、このイベントが北海道の他の地域にも芽生え、いつか全道規模のイベントになることを夢見ながら、今後も函館地区青年委員会一丸となって頑張っていきたいと思います。

悪天候にも関わらず、ご来場いただいた皆さまには本当に感謝申し上げます。